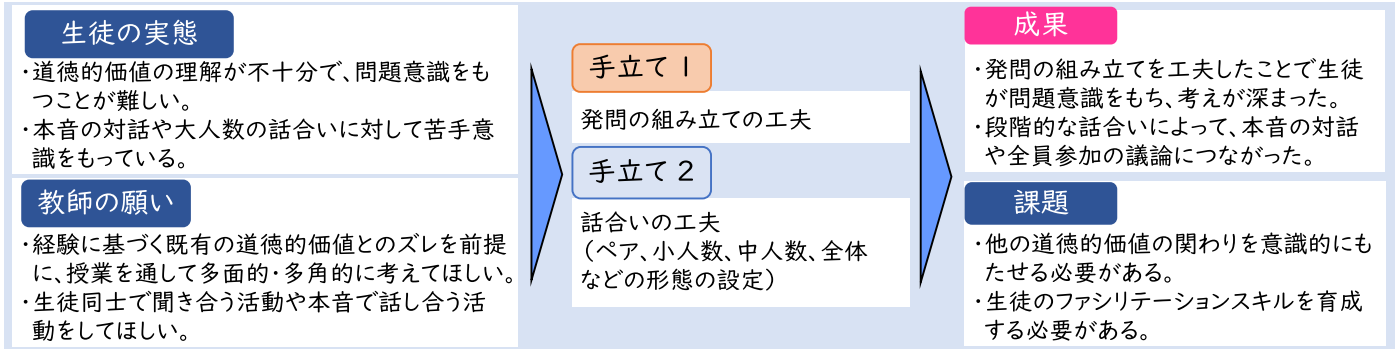


問題意識をもち、考えを深め合う生徒の育成 -発問の組み立てと話し合いの工夫を通して-



特別研修員 道徳 星野 佑樹(中学校教諭)



主題名 調和のある生活を送るために 内容項目 A-2 節度・節制 教材名「よこれた教科書」(出典:「新しい道徳1年 東京書籍」)(第1学年)

アンケート

①頑張りたいことは何ですか ②1日の過ごし方

運動	ゼッパ	サッカー	水泳	野球
音楽	自主	部活	語学	検定
バレー	学習	勉強		
コンクール	早寝	バスケット	手伝い	
ベスト	吹奏楽	ダンス	スケジュール管理	
習い事	ダンス	ラジビエ		

睡眠 平日平均 7.2時間
休日平均 7.4時間
学習 平日平均 1時間(勉強含む)
休日平均 1.5時間
スマホ平日平均 2.4時間(インターネット・ゲーム含む)
休日平均 5.2時間
その他平日(学校・家族団らん・食事・睡眠・ふる)
その他休日(習い事・買い物・手伝い・自由時間)

問題意識をもつ

「生活を改善したくても、難しいのはなぜか」

「少くならいいかなと思う心の弱さがあるから」
「楽しいことや好きなことを優先したい気持ちが強いから」
「ルールが決められていないし、インターネットを利用しているとすぐに時間が過ぎてしまうから」

③見直したいと思いますか →YES 26人 NO 4人

道徳的価値とのズレ

めあて
どうすれば正しい生活習慣を身に付けることができるだろうか

	手立て1 発問の組み立ての工夫	手立て2 話し合いの工夫
<p>基本</p> <p>登場人物に共感・投影するための発問</p> <p>サトシはどう思った？ あなたは どう思う？</p> <p>登場人物の言動を分析・批判するための発問</p> <p>サトシのセリフを考えよう。 よいセリフ？よくないセリフ？</p> <p>中心</p> <p>登場人物の葛藤・転換場面における発問</p> <p>サトシの葛藤を考えよう。 生き方が変わる場面で何を考えたのだろう？</p> <p>深化</p> <p>登場人物・自己の道徳的価値を追求するための発問</p> <p>よりよい生き方について考えよう。 これからどのように過ごしていけばよいのだろう？</p>	<p>人間の弱さや醜さ</p> <p>友人をゲームに誘っているし、最高だと感じているよね。</p> <p>しなきゃいけないことがあるのに、他人を誘うのはあまりよいことだと思わないな。</p> <p>変化する前後の生き方</p> <p>過去のサトシは勉強を頑張っていたよね。</p> <p>人間としてのよりよい生き方をしようとする姿</p> <p>サトシの生き方から、節度を守ることが大切だと思いました。</p>	<p>ペア</p> <p>私なら不安を感じるなあ。誘われても困っちゃうな。</p> <p>小人数</p> <p>サトシの友人もゲームを楽しんでいたから、つい誘ったのでは？</p> <p>誘ってあげているからよいセリフだと思うな。</p> <p>中人数</p> <p>将来を考えて、これからどうしようって心配しているよ。</p> <p>今のサトシは目標を見失って、好きなことばかりしている。</p> <p>全体</p> <p>自分の欲をコントロールして、節制に心がけることが正しい生活習慣につながると 생각합니다。</p>

納得解をもつ	振り返る
<p>どうすれば正しい生活習慣を身に付けることができるだろうか</p> <p>自分にとって必要なことや大事なことは何か考えて、「頑張るぞ」という強い気持ちをもつ(生徒記述)。 無理のない範囲で始めたり、自分の頑張りを見えるようにしたりする(生徒記述)。</p>	<p>今日の授業では、正しい生活習慣を身に付けるために、生活を振り返ることが必要だと感じました。また、<u>節度を意識して</u>、自分の弱い気持ちをコントロールすることが大切だと思います。自分の努力は必ず将来に生きるため、正しい生活習慣を心掛けていきたいです(生徒記述)。</p>